

## 24 議員が質問

- P10** 藪田 悟議員  
市長給与のカットを！
- 今村 直登議員  
合併して良かったと喜んでもらえる市政を！
- P11** 木村 祐一議員  
品目横断的経営安定策について！
- 神田 公司議員  
熊本電鉄 LRT 化と熊本市電との結節について！
- 佐々木 博幸議員
- P12** 品目横断的経営安定対策事業と農地・水・環境保全事業について！
- 丸内 三千代議員  
政治公約及び施政方針について！
- 岡野 富雄議員
- P13** 報償金の廃止について！
- 松村 眞一議員  
政権公約実現の可能性は！
- 五嶋 輝行議員
- P14** 幹線道の新設を！
- 東 孝助議員  
高齢者福祉対策は万全か！
- 坂本 武人議員
- P15** 新市の都市計画について！
- 下川 カズエ議員  
地域教育力の取り組み！
- 田端 眞知子議員
- P16** 子育て支援日本一の街づくりの施策は！
- 江副 一男議員  
市民の要望に応える行財政改革体制の確立を！
- 松下 広美議員
- P17** 市政懇談会開催を！
- 木場田 孝幸議員  
どうなった？市道若原線整備
- 来海 恵子議員
- P18** 子育て支援日本一のまちづくりとは？
- 青木 伸一議員  
総合計画・財政計画の策定について！
- 汐田 安徳議員
- P19** 住居表示導入は？
- 光木 寿一郎議員  
市長の重要施策は？
- 吉永 健司議員
- P20** 小児救急、現状と対策は？
- 坂本 富士夫議員  
総合振興計画の策定！
- 木村 功議員
- P21** 行政の説明責任について！
- 松井 美津子議員  
行財政改革について！

一般質問は、質問、  
答弁ともに要旨を  
掲載しています。

# 一般質問 市政を問う

## 非核・平和都市宣言

真の恒久平和と安全は、人類共通の願いである。しかし、願いに反して、今なお核兵器の開発・増強が続けられ世界平和、人類の存続に深刻な脅威を与えている。

私たちは、世界で唯一の被爆国民として、子どもたちの未来を守るため二度と核兵器による惨禍が繰り返されないよう全世界に向けて核兵器廃絶を訴え続ける責務がある。

よって、合志市は、日本国憲法の理念に基づき、核兵器の全面廃絶と非核三原則（持たず・作らず・持ち込ませず）の堅持と平和運動の積極的な推進を行い、永遠にこれを継承する「非核・平和都市」を宣言する。

以上決議する。

平成 18 年 6 月 27 日 合志市議会

合併後、初めて  
の議会のため、  
改めて宣言決  
議文を全会一  
致で可決しま  
した。

## 暴力追放都市宣言

合志市は、緑にあふれた自然環境の中で、産業・定住拠点都市として、大きく飛躍しようとしています。

暴力のない、安全で安心して暮らすことのできる合志市の実現は、市民共通の願いであります。

しかし、法秩序を無視した暴力行為は一層増加する傾向にあり、私たち市民の生活に不安と脅威をあたえています。

平穏な日常生活と安全を守るため、市民一人ひとりが暴力行為を認めない地域づくりに努め、すべての暴力を排除していかなければなりません。

今こそ、暴力団等の組織暴力はもとより、社会秩序を乱すあらゆる暴力行為を追放するため、「暴力追放都市」を宣言し、安全で安心して暮らすことのできる合志市の実現を目指します。

以上決議する。

平成 18 年 6 月 27 日 合志市議会

## 交通安全都市宣言

安全で健やかに暮らすことは、合志市民すべての願いです。

私たちは、今日の車社会において、経済の発展や利便性を手に入れました。

しかし、その反面、多発する交通事故によって多くのかけがえのない生命や健康が奪われています。

市民生活を脅かす交通事故を防止するためには、道路交通環境の改善を図るとともに、市民一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践する必要があります。

よって、私たち合志市民は、人命尊重の理念に基づき、交通事故のない安全で住みよい地域社会の実現に努めることを決意し、ここに「交通安全都市」を宣言します。

以上決議する。

平成 18 年 6 月 27 日 合志市議会

## 暴走族等追放に関する決議

正しい交通秩序を確立し、安全で安らぎのある生活の実現は、合志市民共通の願いであります。

しかしながら、交通秩序を無視し、集団での暴走行為や深夜の爆音暴走行為が横行し、しかも、将来を担う若者によって引き起こされていることは、極めて憂慮に堪えません。

このような暴走族等の存在は、永年にわたって築き上げられた法と秩序を破壊し、市民の平穏な生活を著しく脅かすものです。

そのため「暴走行為をしない。させない。見に行かない。」という社会的風潮を確立し、市民が一丸となって、その根絶に一層の努力をしなければなりません。

よって、本市議会は市民とともに総力を挙げて暴走族等を追放し、安全で明るい郷土の実現に努力いたします。

以上決議する。

平成 18 年 6 月 27 日 合志市議会

## ハンセン病問題に関する決議

1996 年 4 月、ハンセン病隔離政策を定めた「らい予防法」が廃止された。

しかしながら、未だにハンセン病に対する差別や偏見は解消されていない。

今こそ、ハンセン病に対する正しい知識と理解をさらに深めることが急務であり、入所者・退所者の人権回復と生活安定のため、合志市として啓発活動等の推進を積極的に取り組むことを決議する。

平成 18 年 6 月 27 日 合志市議会